



目次

新年度のごあいさつ	1
病診連携施設紹介「清水クリニック ご挨拶」	2
看護部だより	3
職場紹介「薬剤科」	4
ア・ラ・カルト「内視鏡手術」	5
お知らせ「看護週間」	6
患者致	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構
発行責任者：長沼博文
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
電話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：<http://www.kofu-hosp.com/>
Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp
携帯サイト用QRコード



「春の笛吹川」

3月も彼岸の頃を過ぎると、ここ山梨でも春の訪れをとみに感じられるようになります。特に山梨を代表する河川である「笛吹川」は大量の水を湛えて溢々と流れ、広い河川敷を草木の緑、そしていち早く咲いた枝垂桜の鮮やかな色が彩り、春の訪れを実感させてくれます。春爛漫の山梨へ、皆様も「春」を感じに来ませんか？(写真・文 管理課改修係 山田 昌弘)



独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

- 1 基本姿勢
患者さんの目標に立ち、優しさと思いやりをもって病める人々が心を癒し、病を回復し健康を維持されるよう努めます
- 1 政策医療と地域医療
成育、重症心身障害を中心に当院で提供する全ての医療を政策医療として位置づけ、国民の健康と安全に寄与すると同時に、地域医療として山梨県民の皆様へ還元し、県民に選ばれ、お役に立てるように日々努力します
- 1 患者さんの権利
患者さんの平等で適切な医療を受ける権利、知る権利、選ぶ権利を守ります
- 1 研究と教育
全ての医療職種に貢献できる質の高い臨床研究と教育研修の推進に努めます
- 1 安定した経営
たゆまぬ意識改革を行い、独立行政法人として安定した経営を目指します

院長 あいさつ

「平成22年度の挨拶」

病院長 長沼 博文



当院は、平成16年4月に独立行政法人国立病院機構となって6年が過ぎました。国の時代とは異なり、経営面もかなり効率化が進んできました。全国に145の機構病院があり、全体の年度収支は最初の1年を除きプラスとなっており過去債務を順調に償還しています。国立病院機構は政策医療を行なうことで存在意義があり、当院も可能な限りその維持に努めています。昨年からは、整形外科、眼科、消化器内科、麻酔科、外科、循環器内科などの医師が増えており、その役割を果たして行けると思います。

平成22年度となり、一番大きな話題は診療報酬の改定です。病院にとっては少しプラスの改定となりましたが、まだまだ充分とは言えないのが現状だと思います。経営の効率化も叫ばれていますが、あまり雑巾を絞り込むようにというばかりでは、医療の現場が疲弊してしまいます。問題は、山梨県のみでなく全国的にまだ医師及び看護師の需給のバランスが改善していないことにあると思います。甲府市内には幾つかの病院があり、当院もその一つですが、長期的に見れば、ある程度病院間で診療機能を分担して行く方向が良いのではないかと考えています。地域に密着した医療と機能分化した医療の両方を提供しながら、それぞれを充実させていく方向ということになります。又同時に、地域の医療機関ともコミュニケーションを図り、患者さんに満足してもらえる医療を提供したいと思います。

もう一つの問題は、社会保障費の問題です。今後も社会保障費は増加して行くと思います。が、財源をどうするかという問題は政治的な解決が必要になります。将来的には、消費税を増やして社会保障費にあてる方向になると思いますが、方向性が早く明らかになることを期待しております。

病 診 連 携 施 設 紹 介

「清水クリニック ご挨拶」

清水クリニック

院長 清水 洋一

甲府の東端、向町で産婦人科を開院して、丸12年が経ちました。

開院当時、周りはすべてぶどう園で、病院の外観は淡い緑色で、ぶどう園の中に立つワインセラーをイメージしました。病院のシンボルマークもぶどうの葉のイラストにしました。現在は、周りのぶどう園はなくなり、アパートになってしまふ時の流れを感じます。

安全なお産を目指し毎日努力を重ねております。患者さんのニーズに合わせ、妊娠中、分娩、産後のアメニティの向上を目指し、マザークラスをはじめとする各種教室、マタニティコンサート、産後のダイエット教室や子育てサークルなどを通じて、育児中孤立しやすいママたちの心が休まるひと時が提供できればと思っています。

お誕生会の様子



ベビーサークル



また、女性の生涯を通じて、健康づくりのパートナーでありたいと思い、更年期障害、癌検診など、一般婦人科外来にも力を入れています。

独立行政法人国立病院機構甲府病院には日頃大変お世話になっております。開院してから約4000の出産を経験しましたが、新生児に関しては判断に迷うことが多く、小児科の久富幹則先生には迷惑のかけっぱなしで、感謝しても感謝しきれない思いです。大血管転位症、肺動脈還流異常症など本でしか見たことのない様な症例にぶつかった時も、的確な対応で、助けることができましたし、日常良く経験する黄疸やメレナなどの症例も気軽に電話で相談に乗ってくださっていただいております。

日々の診療を安心して行えるのは、独立行政法人国立病院機構甲府病院のNICUのおかげだと思います。これからもどうぞ宜しくお願いします。



医院外観

■診療時間

月・金曜日 AM 9:00~12:30 PM 3:00~6:00
火・木曜日 AM 9:00~12:30 PM 2:00~5:00
土曜日 AM 9:00~12:30

■休診日

日曜日・祝日
※ 分娩・急患の際はいつでも来院ください

■住所

〒400-0813 山梨県甲府市向町450-5
Tel 055-221-0341
Fax 055-275-3281
URL <http://www.shimizuclinic.or.jp/>

看護部だより

「新人看護職員を迎えて」

副看護部長 白川 由起子

医療の高度化や在院日数の短縮化、医療安全に対する意識の高まりなど国民のニーズの変化を背景に看護基礎教育で修得する看護実践能力と臨床の現場で必要とされる実践能力との間に乖離があり、就職後の研修が重要で必須となっています。また病院では新たに業務に従事する看護職員の臨床研修等が努力義務として規定されました。

国立病院機構では既に平成18年より看護職員の教育に対し「看護職員能力開発プログラム」により、新人をはじめとする看護職員の教育を行っています。その中心的な役割を教育担当看護師長が担っています。

この4月も大勢の新人を迎え看護部、病院全体が活気に満ちています。今後当院看護部の大きな力となる人材です。大切に育てていきたいと考えております。今回は当院の教育担当看護師長が研修の一部を紹介致します。

教育担当看護師長として、新人看護職員への関わり

新岡 由佳子

私は、甲府病院看護部の教育担当看護師長として配属になり2年目になります。例年4月には新人を迎えておりますが、今年は今までになく大勢の新人を迎え看護部では看護学校での基礎教育から臨床での看護実践に向けて患者さんに安全で安心した看護が提供できるよう教育を始めます。職業人としての自覚から、看護師としての専門知識、技術の習得、組織・チームの一員としての役割を理解し一人前の看護師として看護を実践できる能力を身につけていきます。それでは看護部院内の教育方針である「理論と技術を持って創造し、行動する看護の実践者を育成する」を目的に行っている研修を簡単に紹介させていただきます。

平成22年度 1年間の教育計画

新人看護師研修テーマ		時期
1	新採用者オリエンテーション	4月1日～4月6日
2	緊急時の看護	5月
3	医療安全	6月
4	チーム医療	11月
5	1年間の振り返り	平成23年2月

1. 新採用者
オリエンテーション

(採血)

採血は新人同士でお互いに練習します。



(点滴)

点滴の技術は実際使用するものを使用して練習します。

2. 緊急時の看護



患者さんの急変に備えて緊急時の対応はモデルを使って練習します。

- 医療安全では、事例を通して危険を理解し予見する力をつけていきます。
- チーム医療では、あらためて看護師の役割を理解し自覚をします。
- 1年間の振り返りでは、新人同士、看護師としての成長を確認し合います。

現在はオリエンテーション期間中ですが、緊張した表情から期待へと変化が見えます。これからも新人の笑顔と努力の姿勢が続くよう毎日配属された病棟に向向いて相談のり、成長に向けて教育、支援していきたいと考えています。どうぞお気づきの点がありましたらご意見を頂きたいと思ひます。

薬 剤 科 業 務 紹 介

薬剤科調剤主任 小尾 正人

現在、常勤薬剤師5名、助手1名で業務を行っており、主な業務には、調剤業務、医薬品管理業務、医薬品情報業務、製剤業務、病棟業務、抗がん剤の混合調製、薬学生の教育・実習指導などがあります。

薬剤科では、医師、看護師らの医療スタッフと連携をはかり、チーム医療に貢献することを目的とした薬剤業務の展開をめざしています。

◆ 調剤業務

調剤室では、主に入院患者さんのお薬の調剤を行っております。外来患者さんは院外処方となり、“かかりつけの薬局”で調剤をしていただきます。

調剤業務では、医師によるお薬の指示書である処方せんに基づいて、お薬の調剤をしています。この時、お薬の種類や飲み方、使い方や飲む量、使う量、飲み合わせなどについて確認しています。

また、入院患者さんには、飲み薬ばかりでなく、注射薬についても薬剤師が注射処方せんにより個人別に調剤し、その性質、投与量や投与される注射薬の相互作用など必要なチェックを行っています。

◆ 医薬品管理業務

病院内で使用されるお薬の購入、各部署への供給を行います。患者さんにお薬を安心してお使い頂けるよう品質の管理をしています。

◆ 医薬品情報業務

薬の有効性、安全性、相互作用などの情報を院内に発信し、さらに、一般の方はもちろんのこと、医師、看護師からの薬に関する問合せにお答えしています。

◆ 製剤業務

製剤業務では特殊な製剤処方に基づいて、市販されていないお薬、規格や投与経路の異なるお薬を必要に応じて調製しています。

◆ 病棟業務

入院中の患者さんにお薬の説明（服薬説明）を行っています。このお薬の説明を通して、お薬が正しく使用されているか、お薬による副作用がないかなどを確認しています。また、飲み薬だけでなく、注射薬についても使用する量や併用するお薬どうしの影響、使用方法などについて問題がないか確認をしています。

◆ 抗がん剤の混合調製

抗がん剤による治療を受ける患者さんには、薬剤師が専用の機器を使用して無菌的に薬の混合調製を行っています。



◆ 薬学生の教育・実習指導

薬剤科では薬学部学生実習の受け入れをしています。薬剤科の実務を通じて薬剤師の職能を正しく理解し、医療人としての薬剤師の役割と責任の重要性を学ぶことを目的とした教育活動を行っています。

~~~~~  
お薬の飲み方や使い方などで不明のことがございましたら、いつでも気軽にお声をかけてください。  
~~~~~

アラカルト

「内視鏡手術」

消化器科医長 澤田 威生



昨年から消化器科にきました消化器内科医師です。専門は肝炎ウイルスと肝細胞癌の治療です。肝炎ウイルスの抗ウイルス治療は現在の標準的治療の治験から関わり、現在まで多数の抗ウイルス治療を行ってきました。今回は内視鏡手術について説明します。

はじめに内視鏡の歴史ですが膀胱、胃、喉頭、気管支、腹腔、胸腔、関節、血管と行われ、硬性膀胱鏡を応用した外科領域の関節鏡手術、膀胱鏡手術、腹腔鏡手術、胸腔鏡手術を内視鏡手術、内科領域で内視鏡を用いた治療を内視鏡処置、内視鏡治療、内視鏡手術と呼びます。消化器科では扱う臓器が多いため内視鏡検査、内視鏡手術の種類も多数あります。現在一般的に行われている主な内視鏡検査、治療と経験件数を以下に紹介します。個々の検査、手術については機会があれば説明します。

検査		対象疾患	処置 治療 手術	
超音波内視鏡検査 (EUS)	30 件程	閉塞性黄疸 総胆管結石	内視鏡的胆道ステント術	250 件程
内視鏡的逆行性胆膵管造影検査 (ERCP)	600 件程	膵石 慢性膵炎	内視鏡的結石除去術	150 件程
上部消化管内視鏡検査 (EGD)	9500 件程	消化管早期がん	内視鏡的粘膜切除術	100 件程
			内視鏡的粘膜剥離術	0 件
		消化管ポリープ	内視鏡的ポリープ切除術	150 件程
		消化管狭窄	内視鏡的消化管拡張術	20 件程
			ダブルバルーン小腸内視鏡検査 (DBE)	0 件
大腸内視鏡検査 (CS)	1500 件程	消化管出血	内視鏡的消化管止血術	200 件程
シングルバルーン小腸内視鏡検査 (SBE)	3 件	消化管異物	内視鏡的消化管異物除去術	20 件程
			内視鏡的胃瘻造設術	300 件程
経鼻内視鏡検査 (TNES)	1500 件程		内視鏡的胃瘻造設術	
カプセル内視鏡 (CE)				
腹腔鏡検査 Laparoscopy	3 件	肝臓癌	腹腔鏡下ラジオ波焼灼術	0 件
腹部超音波検査 (AUS)	1500 件程		経皮的ラジオ波焼灼術	30 件程
腹部血管造影検査	500 件程		ポート造設術 (動脈 静脈)	50 件程
			肝動脈化学塞栓術	450 件程

お知らせ

看護週間のおしらせ



5月12日はフローレンスナイチンゲールの誕生日で、この日が「看護の日」に制定されています。当院では、5月9日（日）～5月15日（土）を看護週間として壁新聞による病棟紹介、5月12日は「看護の日」のイベントとして、外来ホールで「各種測定」「栄養相談」コーナー等を設置致したいと思います。どうぞご来院下さい。

平成22年4月 看護部



平成21年度一日平均患者数

入院

※3月分及び年間累計は3月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		91.9	75.2	90.2	81.2	81.4	86.9	81.0	83.0	95.5	93.4	103.4	100.2	88.8
重心		120.2	120.1	121.3	120.5	119.5	119.8	119.0	120.2	119.9	119.6	121.3	121.2	120.4
計		212.1	195.3	211.4	201.7	200.9	206.7	200.0	203.1	215.4	213.0	224.7	221.4	209.1

外来

※3月分及び年間累計は3月末日現在（小数点以下第2位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	245.8	271.6	246.8	260.6	253.4	269.8	264.6	278.4	281.8	275.3	273.5	262.4	264.7

外来医師担当表

平成22年4月1日現在

		月	火	水	木	金	
一階 診察室	内科	1	渡 邊	10時～ 渡邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
		3	川 口	循環器科 佐野		中 尾	太 田
		4	循環器科 葉袋			循環器科 葉袋	循環器科 葉袋
		5					
	特殊外来	午後3時～		渡 邊			
	外科	1	鈴 木	牧	角 田	鈴 木	牧
		2	浅 川			乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木
	消化器科	1		稲 岡	稲 岡		
2		澤 田	澤 田	澤 田		澤 田	
整形外科 (スポーツ・整形外科センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野	
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀	
	3						
二階 診察室	小児科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富
		専門外来1 (午後)	神 庭 畑	神 庭 中村	神 庭 神谷	第3遺棄 小野	代 藤 内田
	専門外来2 (午後)	7:00-7:30 久富	7:00-7:30 久富				
	脳神経外科(2階 日産産科外来)	長 沼		長 沼	長 沼	長 沼	
	泌尿器科		大学より 午前午後				
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	滝 澤	雨 宮	高 木	
	2	雨 宮	高 木	原	高 木	滝 澤	
	3		原		妊婦 助産師外来	原	
眼科	予約のみ 10時迄	地 場	地 場	地 場		地 場	
耳鼻咽喉科					矢 崎		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)

●予防接種(小児科) 毎週木曜日(完全予約制)

●乳児健診 毎週 火・金曜日(完全予約制)

●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師

●人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。肝機能が低下したと感じたら、受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知かと思ったら、受診されることをお勧めします。

看護職員募集
随時行って
おります

当院ホームページより「受診願書」「採用希望施設票」をダウンロードの上、当院管理課人事担当宛にお送り下さい。折り返しご相談をさせていただきます。



宛先および照会先

〒400-8533

山梨県甲府市天神町11番35号

国立病院機構甲府病院

管理課 人事係

電話 055-253-6131(代表)

